

『妻はりんごを食べない』 刊行記念

小説家・瀧羽麻子さん対談 & サイン会 in 長崎

～小説のこと、取材旅行のこと、お話しします～

妻は
りんごを
食べない
瀧羽麻子

いなくなった妻を追
い、日本を北に南に辿
る物語。
お話を書くにあたり、
長崎も歩いたそうで…

撮影…イシツカマコト

2025 年 7 月 20 日 (日)
14:00～15:40(13:30 開場受付開始)

ミライ on 図書館
1階 多目的ホール
(長崎県大村市東本町481)

【参加方法】

参加費無料。イベント参加には、申し込みが必要です。先着順。

電話で予約の場合→0957-48-7700 ミライ on 図書館まで

QR コードから予約の場合→右の QR コードを読み込んで予約ください

ミライ on 図書館で直接申し込み→裏面の「申込用紙」を3Fカウンターへ持参

定員 60 名

人数次第で、当日
受付も可能です



【本の販売について】

会場で『妻はりんごを食べない』を販売いたします(1800 円+税)

サイン会に参加したい方は、ご自身で本をお持ちいただくか、現地でご購入下さい

【タイムスケジュール】

14:00～14:45 対談(聞き手:橋本正信/県立長崎図書館郷土課)

14:45～14:55 質疑応答

15:10～ サイン会

主催

ミライ on 図書館
NAGASAKI PREF. & OMURA CITY LIBRARY

お問い合わせはこちら
0957-48-7700

【『妻はりんごを食べない』について】

40 代に入った小川暁生は、妻と二人の生活を気に入っている。ところがある日、妻が実家に行ったきり、戻ってこない。日本を北に南に、彼女に縁のある場所を探る暁生だったが、どこへ行っても、彼女は気配だけ残し、姿は無い。見知らぬこの地で彼女は何をし、どんな顔を見せていたのか? 遠く離れた土地と土地を結ぶ“線”には、どんな秘密があるのか? そもそも彼女は無事なのか?

穏やかすぎる夫婦に突然訪れた、愛のゆらぎの物語。

【瀧羽麻子さんについて】

1981 年兵庫県生まれ。京都大学卒業。2007 年『うさぎパン』で第 2 回ダ・ヴィンチ文学賞大賞受賞。2019 年『たまねぎとはちみつ』で第 66 回産経新聞児童出版文化賞フジテレビ賞受賞。その他の著書に『株式会社ネバーラ北関東支社』『左京区七夕通東入ル』『いろは匂へど』『ありえないほどうるさいオルゴール店』『もどかしいほど静かなオルゴール店』『虹にすわる』『女神のサラダ』『博士の長靴』『さよなら校長先生』『かわせみのみちくさ』他、著書多数。今作は、これまでの作品とはガラリと作風が変わった、謎を軸にした物語で、すでに、全国の書店員さんから絶賛の声が集まっている。

瀧羽 麻子さん
トークイベント&サイン会
参加申込用紙

必要事項を記入し、ミライon図書館 3階カウンターにご提出ください。

氏 名 (フリガナ)	
連絡先 (電話番号)	
参加人数 ※複数名参加の場合	名

★ お問い合わせ・お申し込み★
ミライon図書館(長崎県大村市東本町481)
TEL:0957-48-7700